

Microsoft® Windows® Server 2003用 PCIホットプラグ ユーザ ガイド



2004年3月（第2版）
製品番号 357858-192

© 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Intel、インテルおよびItaniumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本書で取り扱っているコンピュータ ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HPから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア資料、および商業用製品の技術データは、ベンダ標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Microsoft Windows Server 2003用PCIホットプラグ ユーザ ガイド

2004年3月（第2版）
製品番号 357858-192

目次

はじめに	5
概要	5
セットアップ	5
ホットプラグ アド.....	6
ハードウェア インタフェース	6
HP Integrity Superdomeのハードウェア インタフェース	6
ソフトウェア インタフェース	7
ホットプラグ デリート	8
ハードウェア インタフェース	8
HP Integrity Superdomeのハードウェア インタフェース	8
ソフトウェア インタフェース	9
HP Integrity Superdomeのソフトウェア インタフェース	9
トラブルシューティングのヒント	9

はじめに

このガイドでは、Microsoft® Windows® Server 2003がインストールされているHP Integrityサーバで、ホットプラグ操作を実行する方法について説明します。

概要

- **アテンション ボタン**

アテンション ボタンを使用することにより、ホットプラグ操作を開始できます。HP Integrity rx8620/rx7620では、PCIスロットの背面側の上に白色（ベルの絵）のボタンがあります。アクセスするには、ボタンのカバーを取り外します。HP Integrity rx4640では、PCIスロット セパレータの上に栗色のボタンがあります。HP Integrity Superdomeサーバには、アテンション ボタンはありません。

- **MRL ラッチ**

MRLセンサは、手動保持ラッチ（MRL）によりアクティブになります。MRLを開くと、カードやシステムの電氣的な損傷を防止するために、スロットへの電源が切断されます。HP Integrity rx8620/rx7620では、PCIスロットの背面側の上に青色のレバーがあります。HP Integrity rx4640では、PCIスロットの背面側に黒色のレバーがあり、PCIスロット セパレータの背面側に黒色のラッチがあります。HP Integrity Superdomeサーバには、MRLラッチはありません。

- **電源インジケータ**

HP Integrity Superdomeおよびrx8620/rx7620では、最新バージョンのOpRegionドライバ1.1.0.0（日付2003/6/5）がインストールされている必要があります。

セットアップ

1. HP Integrity rx8620/rx7620では、最新バージョンのOpRegionドライバ1.1（日付2003/6/13）がインストールされている必要があります。
2. HP Integrity rx4640サーバでは、スロット2と3およびスロット4と5が、共有PCIホットプラグ スロットです。最適なホットプラグ動作を実現するには、共有スロットでは、同種類のPCIカードを使用する必要があります。たとえば、133MHzのPCI-Xカードをスロット4に挿入している場合、スロット5に66MHzのPCIカードを挿入できません。スロット3に66MHzのPCIカードを挿入した状態で、スロット2に133MHzのPCI-Xカードを挿入する場合は、正常に動作します。
3. サーバに最新バージョンのシステム ファームウェアが搭載されていることを確認します。
4. Microsoft Windows Server 2003のEnterprise EditionまたはDatacenter Editionがインストールされていることを確認します。

ホットプラグ アド

この項では、Windows Server 2003をインストールしているHP Integrityサーバで、ホットプラグ アドを実行する方法について説明します。

ハードウェア インタフェース

1. 空きスロットを見つけます。
2. そのスロットの電源ランプが点灯している場合、アテンション ボタンを押して、電源切断手順を開始します（点灯していない場合は、アテンション ボタンを押す必要はありません）。電源LEDが5秒間点滅します。電源LEDが点滅している間であれば、アテンション ボタンをもう一度押すことにより、電源切断を取り消すことができます。
3. スロットの電源が切れるのを待ちます（緑色の電源LEDが消灯します）。
4. MRLを開きます。
5. PCIカードをスロットに取り付けます。
6. MRLを閉じます。
7. スロットのアテンション ボタンを押します。電源LEDが5秒間点滅します。電源LEDが点滅している間であれば、アテンション ボタンを押すことにより、要求を中止できます。

Windowsは、デバイスのすべての機能を実現するために各ドライバをロードして起動するか、または新しいカードに必要なドライバをインストールするようにユーザに指示します。

デバイス ドライバは、デバイスの正常な使用を開始します。

8. デバイス マネージャを調べて、取り付けたドライバが表示されているかどうかを確認します。デバイスが表示されない場合、デバイスの追加は失敗しています。

HP Integrity Superdomeのハードウェア インタフェース

1. 空きスロットを確認します。キャビネット番号、I/Oベイ番号、I/Oシャーシ番号、およびPCIスロット番号に注意する必要があります。番号はすべて、キャビネットやI/Oシャーシに記載されています。
2. カードをスロットに挿入します。未使用のスロットはすべて、電源が切断されているはずですが、カードを挿入する前に電源LEDを確認してください。
3. MPコマンド ウィンドウで、**pciolad**と入力します。次のように表示されます。

This command initiates the activation or deactivation of a PCI card.

Note : Activate is equivalent to Add/Insert, and Deactivate is equivalent to Remove/Eject

Do you want to Activate or Deactivate a PCI card (A,D) : a

Enter cabinet number: w

Enter IO bay number: x

Enter IO chassis number: y

Enter PCI slot number: z

Activate PCI card in Cabinet w, IO Bay x, IO Chassis y, PCI Slot z? (Y/[N]) y

Request to Activate PCI card sent to system. Check slot power LED.

MP:CM>

4. シャーシの上部からスロットの電源LEDを見て、LEDが完全に点灯していること、すなわちスロットの電源が投入されていることを確認します。緑色のLEDが完全に点灯していない場合は、スロットの電源が投入されておらず、カードの追加は失敗しています。
5. デバイス マネージャを調べて、取り付けたドライバが表示されているかどうかを確認します。デバイスが表示されない場合、デバイスの追加は失敗しています。

ソフトウェア インタフェース

Windowsでは、GUI始動の追加を実行できないため、この機能はサポートされません。Windowsには、OSからのホットプラグ アドを開始できる、GUIもファームウェアへのインタフェースもありません。この件についてのMicrosoft社の公式見解は「ドアベルおよびラッチの実装を確認してください」です。

ホットプラグ デリート

この項では、Windows Server 2003で、ホットプラグ デリートを実行する手順について説明します。

ハードウェア インタフェース

1. 取り外すPCIカードのスロットを見つけます。
2. そのスロットのアテンション ボタンを押します。電源LEDが点滅を開始します。電源LEDが点滅している間（5秒間）であれば、アテンション ボタンを押すことにより、要求を中止できます。

緑色のLEDが点滅をやめ、消灯したら、カードを取り外しても安全です（通知（LEDの消灯）の前に、カードを取り外すと、マシン チェック アラート（MCA）が発生します）。

3. MRLを開きます。
4. カードを取り外します。
5. MRLを閉じます。

HP Integrity Superdomeのハードウェア インタフェース

1. 取り外すカードが挿入されているスロットを確認します。キャビネット番号、I/Oベイ番号、I/Oシャーシ番号、およびPCIスロット番号に注意する必要があります。番号はすべて、キャビネットやI/Oシャーシに記載されています。
2. MPコマンド ウィンドウで、**pciolad**と入力します。次のように表示されます。

This command initiates the activation or deactivation of a PCI card.

Note : Activate is equivalent to Add/Insert, and Deactivate is equivalent to Remove/Eject

Do you want to Activate or Deactivate a PCI card (A,D) : d

Enter cabinet number: w

Enter IO bay number: x

Enter IO chassis number: y

Enter PCI slot number: z

Deactivate PCI card in Cabinet w, IO Bay x, IO Chassis y, PCI Slot z? (Y/[N]) y

Request to Deactivate PCI card sent to system. Check slot power LED.

MP:CM>

3. シャーシの上部からスロットの電源LEDを見て、LEDが消灯していること、すなわちスロットの電源が切断されていることを確認します。緑色のLEDが消灯していない場合、スロットの電源は切断されておらず、カードの取り外しは失敗しています。
4. カードを取り外します。

注：Integrity Superdomeのホットプラグ デリートは、Windowsのインタフェースを通じて実行することをおすすめします。

ソフトウェア インタフェース

1. 画面右下隅のSafely Remove Hardware起動アイコンを使用して、ハードウェアの削除をWindowsに要求します。

Windowsは、カードを取り外しても安全なタイミングをユーザに通知します（安全であることをWindowsが通知する前に、ユーザがカードを取り外すと、MCAが発生します）。

2. MRLを開きます。
3. カードを取り外します。
4. MRLを閉じます。

HP Integrity Superdomeのソフトウェア インタフェース

1. 画面右下隅のSafely Remove Hardware起動アイコンを使用して、ハードウェアの削除をWindowsに要求します。

Windowsは、カードを取り外しても安全なタイミングをユーザに通知します（安全であることをWindowsが通知する前に、ユーザがカードを取り外すと、MCAが発生します）。

2. カードを取り外します。

トラブルシューティングのヒント

HP Integrity Superdomeおよびrx8620/rx7620でホットプラグ操作が失敗した場合、ドライバがインストールされているかどうかを確認します。

1. デバイス マネージャを起動し、システム デバイスを展開します。[HPCSR OpRegion Driver]を右クリックしてから、[プロパティ]をクリックします。次に、[ドライバ]タブをクリックします。ドライバは、バージョンが1.1.0.0で日付が2003/6/5でなければなりません。ドライバのバージョンが異なる場合は、ドライバを更新する必要があります。
2. デスクトップの[OnlineReference]ページを開きます。
3. [OEM Drivers]をクリックします。
4. [Description]欄で、[Click on HP (Hotplug) Region Driver]をクリックします。これで、ホットプラグ対応ドライバの更新が開始されます。
5. [Yes]を選択して、ドライバをインストールします。